

福德岡ノ場の火山活動解説資料

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

本日（13日）に第三管区海上保安本部が実施した上空からの観測で、福德岡ノ場の噴火を確認しました。気象衛星ひまわりの観測でも、本日（13日）06時20分頃から噴煙が継続して観測されています。

防災上の警戒事項等

福德岡ノ場の付近および周辺海域では引き続き海底噴火に警戒が必要です。周辺海域では海底噴火による浮遊物（軽石等）に注意が必要です。

平成19年12月1日に噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報を発表しています。

○ 活動概況

本日（13日）に第三管区海上保安本部が実施した上空からの観測では、福德岡ノ場の噴火を確認しました。

気象衛星ひまわりの観測では、本日（13日）06時20分頃から噴煙を観測しており、現在も引き続き観測しています。



図1 13日の噴火の状況（福德岡ノ場北方約90km、高度約6,000mから撮影）

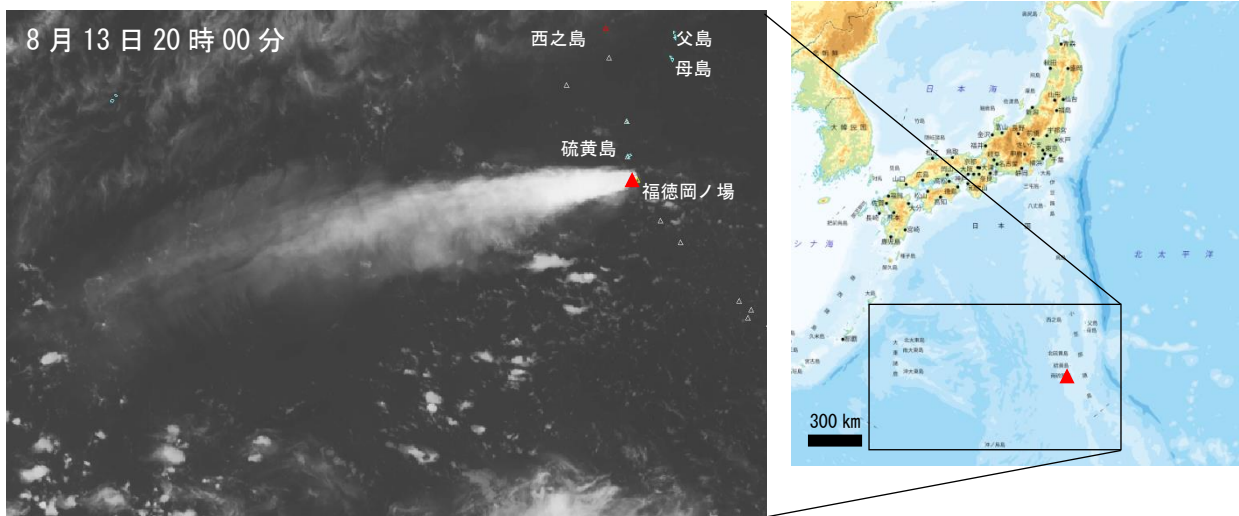


図2 福徳岡ノ場 気象衛星ひまわりの画像（8月13日）

- ・本日（13日）06時20分頃から引き続き噴煙が観測され、西へ流れています。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php）でも閲覧することができます。

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は、気象庁のほか、海上保安庁のデータを利用して作成しています。資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『電子地形図（タイル）』を使用しています。